

References

- Gelderen D. M. van, de Jong P. C. and Oterdoom H. J. 1994. *Maples of the World*. 458 pp. Timber Press, Portland.
- Nakai T. 1917. *Praecursores ad floram sylvaticam Koreanam*. I. Aceraceae. *Bot. Mag. Tokyo* **29**: 25–30.
- Ohashi H. 1993. Nomenclature of *Acer pictum* Thunberg ex Murray and its infraspecific taxa (Aceraceae). *J. Jpn. Bot.* **68**: 315–325.
- 大橋広好(訳) 1997. 国際植物命名規約(東京規約) 1994. 津村研究所, 茨城.
- Shimizu A. and Ohba H. 2001. Catalogue of the type specimens preserved in the Herbarium, Department of Botany, The University Museum, The University of Tokyo. Part 9. Aceraceae. The University Museum, The University of Tokyo, Material Reports No. 45.
- (東北大学大学院理学研究科
附属植物園津田記念館)

グミ科 *Hippophae rhamnoides* L. の和名 (小原 敬)

Takashi OBARA: The Japanese Name of *Hippophae rhamnoides* L.

最近中国から健康飲料やソースの原料として、中国名：沙棘・醋柳が輸入されるようになった。この植物の英名は common sea buckthorn, ロシア名は облепиха である。この木の学名は *Hippophae rhamnoides* L. (グミ科) であるが、その和名を併記している文献は少ない。例えば、世界有用植物事典(堀田 満他編, 平凡社, 1989年発行)では和名が書かれていない。岩波書店のロシア語辞典(1966年発行)にはロシア名 облепиха を「クロウメモドキ」とし、研究社の露和辞典(1988年発行)では「グミ科の落葉低木, クロウメモドキ」としている。しかし、クロウメモド

キの和名はすでに他の種で使われており、適当でないことは明らかである。ところが、第一次世界大戦後に発行された矢部吉禎編「青島植物豫察調査報告」(1919年, 南満州鉄道株式会社)の p. 12 と p. 85 には, *Hippophae rhamnoides* L. に「スナザグミ」という和名を命名したことが書かれてあり, また目録にもこの植物が記述されている。したがって, 本種の和名にスナザグミを用いるのが適当である。この豫察調査報告書は出版所が特殊で出版部数も少なく, 長い月日の後, この和名も忘れ去られてしまったのであろう。

(251- 藤沢市)